

子宮頸がん検診

子宮がんには**子宮頸がん**と**子宮体がん**があります。

当センターで受けられる検診は**子宮頸がん**の検診です。

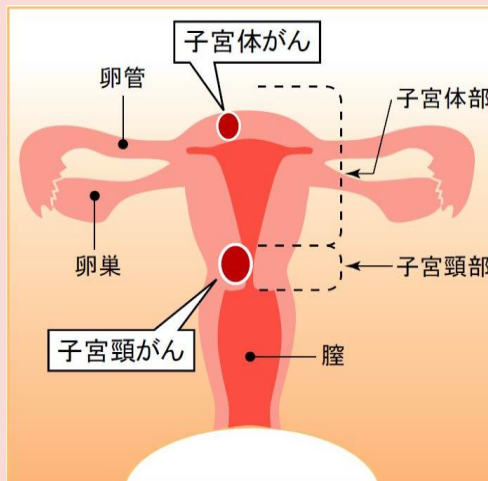


子宮頸がん

子宮頸部(入り口)に発生します。

20~30歳代の若い方に増えています。

※住民検診などでも受けることができます。



子宮体がん

子宮体部(子宮の奥)の内膜から発生します。50歳代以降に多く、出産経験がなく、閉経が遅い方に多くみられます。

※産婦人科で受けることができます。

早期発見のため、毎年1回の子宮がん検診を受けましょう。



Q. 若い人は「がん」になりにくいですか？



子宮頸がんはこの数年間で**20~30歳代の若い人**に急増しています。特に、子宮頸がんの予備軍である「前がん病変」はもっと増えています。

「私は若いから“がん”なんて関係ない」と思っていませんか？

若いからこそ気にして欲しいのが子宮頸がんなのです！

また、希望があれば、オプション検査として**発がん性 HPV(ヒトパピローウイルス)**

の有無を調べる検査^{*}も同一検体で追加することができます。

※HPV 検査は別料金です。詳細は当センターへお問い合わせください。



Q. HPV ってなに??

子宮頸がんの原因は、ほぼ 100%が **HPV(ヒトパピローマウイルス)** というウイルスの感染であることが明らかになっています。

このうち、子宮頸がんの原因となる**発がん性 HPV** は、多くの場合、性交渉によって感染すると考えられています。このため、非常にありふれたウイルスです。

ただし、感染したからといって必ずがんになるのではなく、感染した人のうちの1%未満であると考えられています。さらに、子宮頸がんになるまでには、通常、数年～十数年と長い時間がかかるので、**定期的な子宮頸がん検診**を受けていれば、がんになる前の状態(前がん病変)を発見し、治療することが可能です。

検査方法 視診、触診、内診(双手診)、細胞診を行います。

- ★ 子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞を採り検査します。
- ★ 1～2分で終わり、痛みはほとんどありません。リラックスして受診してください。

注意事項

- ★ 検診当日**生理中**の方は、血液が混じり、正確な検査ができないため、検査日を変更してください。
- ★ **子宮全摘出手術**を受けている方は、子宮がん検診の受診について主治医にご相談ください。

市町村から配られた子宮頸がん検診クーポン券をお持ちの方へ

- ★ 住民検診の日程の日に、当センター内、または各支所で受けることができます。
- ★ 日程については直接当センターへお問い合わせください。